



ザンビアのビクトリアの滝

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する 会ニュース第 2 号 (H24.10.6)

はじめに

早 10 月となり秋の気配が日々感じられる今日この頃です。
会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。
ニュース第 2 号をお届けします。 (文責 理事長 日高良雄)



これまでの経過

1) 法人認証書、法人登記について

7 月 8 日に法人申請書類を提出後 2 ヶ月の縦覧期間を経て、その後の事務手続きも終了し、所管課である宮崎市地域コミュニティ課から連絡を受け、認証書を 9 月 20 日にいただきました。

早速その日に法務局に出向き、法人登記を行ってきました。法人印の登録（理事長である私個人の実印も必要で少々慌てましたが）も同時に行き、9 月 24 日には無事登記が終了したとの連絡をいただきました。平成 24 年 9 月 20 日が正式な登記日です。

2) 登記完了届出及び税務関係機関への届出について

9 月 28 日、登記事項全部証明書（登記簿謄本）を法務局でいただき、所管課である宮崎市地域コミュニティ課に登記完了届出書を提出し、併せて宮崎税務署、宮崎県税事務所、宮崎市民税課に法人の届出に行ってきました。特に問題なく手続きを終えることができほっとしました。

これで正式に「特定非営利活動法人ザンビアの辺地医療を支援する会」が認知されました。

3) 今後の活動について

これまでに、多くの方のご賛同をいただき、10 月 4 日現在、賛助会員として 56 名の方に登録していただき、1 団体から寄付をいただきました。今後とも 100 名以上の賛助会員、寄付をいただけるようお願いをしていきたいと考えておりますし、会員の方におかれましても少しでも多くの方にご協力いただけるようよろしくお願いします。

また PR のためのホームページ、ブログの作成を現在進めています。またその際にはご報告させていただきます。

最後に、山元先生が 9 月 30 日、日本を出発され、10 月 1 日には無事到着されたとの連絡を受けました。早速 3 日のカナカンプの巡回診療に参加されたとのこと。次のニュースでご報告させていただきます。

ザンビアでの活動状況(ニュース 1 号からの続き)

◎モバイルクリニック活動

首都ルサカからの道路は、約 1 時間後には砂利道となり、さらに残り 2 時間は岩のごつごつした 4 輪駆動車でないと走れない山道となるところで、その道をランドクルーザーの後部に折り畳みのイスやテーブル、医薬品、体重計・血圧計・体温計などの医療器材を詰めたコンテナ 3 箱、カルテ、水などを積み、私とリテタ病院からクリニカルオフィサー（準医師）と助産師、チペンビヘルスセンターから 1 名のスタッフが乗り込み、運転手ともども 5 名一緒にルアノ地区に向かいます。そして住民が建設したカヤぶきのコミュニティスクールを借りて、1 室を診察室、その隣の小部屋にわら敷きの寝台をこさえ妊婦健診室とし、別の 1 室で受付・薬剤の配布を行っています。



ルアノへの道路状況



巡回診療に集まっているルアノ地区の人々



診療前の準備



診療全体風景



診察風景



クリニカルオフィサーの活動風景

◎ルアノ地区の疾病状況と課題

毎回平均 128 名の患者の診療を実施。妊婦健診は平均 12 名、家族計画受診者は平均 10 名。51 名が HIV 検査をし、7 名が陽性。マラリア、上気道炎、結膜炎、下痢などの患者が多かったのですが、雨季になってマラリアの患者が増加し、2012 年 2 月は 130 名中 85 名が陽性でした。マラリア患者の少ない地域であるといわれていましたが、20 年以上リテタ病院に勤務しているスタッフはモバイルクリニックでのマラリア患者の多さに驚いています。

ルアノ地区はこれまで必要な医療サービスが提供されなかったこともあり、住民の健康や衛生状態に関する認識が低く、健康教育の充実が急務です。月に 2 回の診療ではありますが、ルアノ地区の状況への理解を得ると共に、将来的にはヘルスポスト建設、医療スタッフの常駐化が必要と考えています。

会員募集と会費納入のお願い

法人口座として郵便局に下記振替口座を開設しましたので、ご協力いただける方は、下記口座へ賛助会費（一口 年 5000 円）の送金と日高 (hidaka1956@gmail.com) への連絡をお願いします。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号番号 0 1 7 2 0 - 9 - 1 2 6 3 5 1

加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 店名：179、預金種目：当座、口座番号：0126351

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。